

歌詞とメロディの構造分析手法に基づく 日本のポピュラー音楽の要因分析

田中 晶之, 飯野 なみ, 西村 拓一, 中村嘉志

産総研 HARC 旧サービスインテリジェンス研究コミュニティ(SIRO)

- 研究目標：AIにおける知識構造的な観点から
人気楽曲が印象に残る一要因の特定

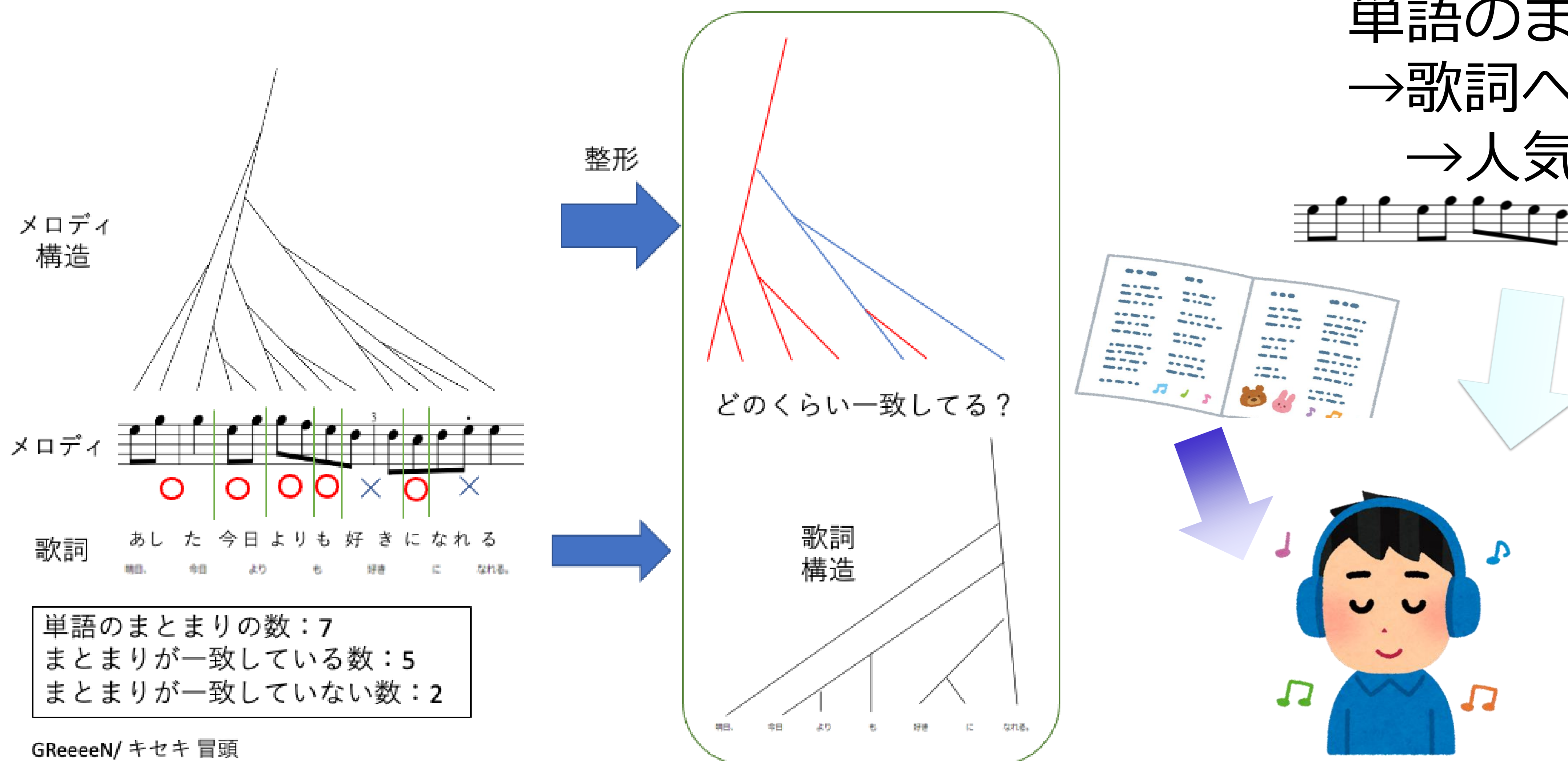
1. 楽曲の歌詞・メロディを構造化
→人気楽曲の構造的な傾向を特定
2. 単語のまとまりごとに
文法構造と音楽構造の一致率を分析
→印象に残る楽曲の要因を考察

- 成果

1. 楽曲の構造的な傾向
→人気楽曲とそうでない曲の構造に
明確な差は見当たらなかった
2. 単語のまとまりの構造の一致率
→人気楽曲の方が単語のまとまりの一致率は低い

- 考察

単語のまとまりのズレにより聴いた際に違和感が発生
→歌詞への共感や感動が生まれ、より強い印象を与える
→人気につながる



		単語のまとまり				
		区間数	単語数	一致数	不一致数	一致率
人気曲	Aメロ	20	331	192	84	0.580
	サビ	21	403	245	97	0.608
	全体	41	734	437	181	0.595
その他曲	Aメロ	22	225	154	71	0.684
	サビ	22	327	204	80	0.624
	全体	44	552	358	151	0.649